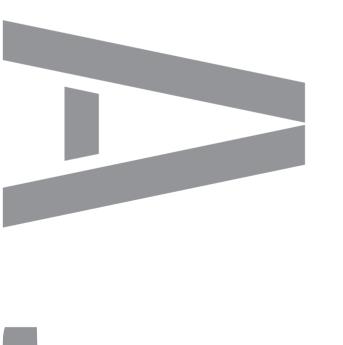






事業計画書 2014



公益社団法人日本キャンプ協会

公益社団法人日本キャンプ協会 2014 年度 基本方針

2014年度は、協会創立50周年となる2016年度に向け「これからの日本キャンプ協会」をかたちづくる作業を着実に進める1年となります。日本キャンプ協会はさまざまな形でキャンプに関わる人々の集まりであり、多様性を保ちつつ力を合わせて、キャンプを通じた社会貢献を広く実現する方策を見いだすことが大切です。そのための基礎となるのは、「学び」と「繋がり」です。

「学び」に関しては、まず、2013 年度にスタートした、キャンプに関連したさまざまな社会状況を知る「キャンプ指導者のためのリベラルアーツ」、キャンプカウンセリングについて対話しながら学ぶ「ディレクターゼミナール」、キャンプを通じて何か始めたいという人々が集い、ともに学ぶ場となる「Café de Camp(カフェ・ド・キャンプ)」という、3 つの研修事業の強化に努めます。これらの事業は、これからのキャンプ指導者に求められる学びとは何かを見いだす作業でもあります。さらに、その学びの成果を参加者だけに留めず、広く会員の方々と共有するため、同様の研修を各地で実施できるよう努めたり、「CAMPING」や「キャンプ研究」などの既存の媒体に手を加えて紹介したりすることで、学びの一層の共有を進めます。2012 年度から進めているグリーフキャンプについても、普及を図るための情報提供に努めます。

また、公認指導者資格制度については、これまで3段階4種であった資格を「キャンプディレクター1級」「キャンプディレクター2級」「キャンプインストラクター」の3段階3種に改め、課程認定団体での「キャンプインストラクター」及び「キャンプディレクター2級」の養成が可能となります。この変更によって受講機会の拡大を進めながら、研修機会の充実と合わせて指導者の資質向上に努めます。

「繋がり」もまた、学びをひとつのきっかけに広がっていくことが期待されます。キャンプアカデミーなどの研修事業をテーマに応じて異なる他団体と共に実施することや、第 4 期となる「出会いと体験の森へ」事業などを通じて、これまでにない新たな繋がりが生まれることが期待されます。また、10 月にトルコで行われる第 10 回国際キャンプ会議は、さらに大きな、国境を越えた繋がりを生むでしょう。このようにして生まれる繋がりは、協会創立 50 周年の 2016 年度に計画している、第 5 回アジア・オセアニア・キャンプ会議や第 21 回全国キャンプ大会などの事業を有意義な集いとするために、欠くことのできないものです。2014 年度には、創立 50 周年事業の組織委員会を実施し、全国の会員一人ひとりが積極的に参画しうる仕組みづくりに努めるとともに、これらの繋がりを組み合わせて具体的な運営体制を築きます。

「多様性を保ちつつ力を合わせる」ことは、現実には大変難しいものです。しかし、会員一人ひとりの知識や経験を生かし、キャンプを通じた社会貢献を進めるためには、私たちが持ちうる限られた社会資源を総動員しなくてはなりません。社団法人にとって第一の財産である「人の力」を結集して、「学び」と「繋がり」を深める1年にしたいと思います。

キャンプを通じた社会貢献の可能性を広げる「学び」

さまざまなタイプの研修機会の充実を図るとともに、学びの成果の共有を進め、キャンプ が担いうる役割が多様にあることの啓発に努めます。

- ・ 「キャンプ指導者のためのリベラルアーツ」「キャンプディレクターゼミナール」など、 新しいタイプの研修機会の充実と全国への都道府県キャンプ協会等を通じた展開
- ・ 「CAMPING」や「キャンプ研究」などの媒体を活用した学びの成果の共有
- ・ 公認指導者資格の受講機会の拡大と指導者の資質向上の取り組み

キャンプムーブメントを広げる「繋がり」

情報の共有によって相乗効果の見込まれる他団体との連携や国際交流を積極的に進める ことを通じて、キャンプムーブメントの拡大に努めます。

- ・ テーマに応じた他団体との柔軟な連携
- ・ 新たな視点を与えうる国外キャンプ関係者との交流の強化
- ・ 全国の都道府県キャンプ協会および会員が積極的に参加しうる協会創立 50 周年事業の 運営体制づくり

キャンプを通じた社会貢献の実践と普及の取り組み

全人的成長に寄与するキャンプの特性を十分に生かし、グリーフキャンプをはじめとする、さまざまな社会的課題に対応しうるキャンプとその関連事業の実施に努めます。

- ・ キャンプを通じた具体的な社会貢献のあり方の模索
- ・ グリーフキャンプの実施と普及のための取り組み
- ・ キャンプの意義の周知を図るための取り組み

「人の力」を結集した協会運営の強化

社団法人の第一の財産である「人の力」を結集して、日本キャンプ協会の持続可能なあり 方を模索し、基盤強化に努めます。

- ・ 事業運営を支える委員会・タスクチームの適切な運用
- ・ 日本キャンプ協会の適正規模の模索と、それに合わせた健全な財政基盤の構築と事務局 機能の再編成
- 新しいファンドレイジング*の仕組みづくり

2014 年度 公益社団法人日本キャンプ協会 事業計画

キャンプの活動を発展させ、広めていく事業	4
よりよいキャンプを実現する指導者養成の事業1	l2
キャンプの質の向上につながる研修及び調査研究の事業1	L5
法人事務	18

キャンプの活動を発展させ、広めていく事業

キャンプを通じて社会貢献を行うためには、キャンプに関する具体的な知識経験を深めるだけでなく、 現代の社会状況の把握や対象の理解も欠かせない。そこでモデルとなるキャンプの実施や都道府県キャンプ協会等の取り組みの支援、先行事例の情報収集などを行う。

また、それによって得られた情報の共有を積極的に図るため、関係各団体とも協力しながら多様な研修機会を広く提供する。これらを通じて、キャンプに対する一般の認知を高めるとともに、会員が各地域において活動の幅を広げるための支援とする。

(1) キャンプアカデミー

対象理解はキャンプを行う上で特に重要なことがらのひとつといえる。そこで対象理解に役立つ基礎的な項目を扱う研修事業をキャンプアカデミーとして実施する。また、このような集合研修では参加できる人が限られてしまうため、内容をまとめ「CAMPING」や「キャンプ研究」で紹介するなどし、広く活用されるよう十分に配慮する。

1. キャンプアカデミー「キャンプ指導者のためのリベラルアーツ 2014」

タイトルの「リベラルアーツ」は「基礎的な教養」を指すことばである。キャンプ指導者として備えておきたい教養となり得る項目について、多様な視点で理解を深めるための講座をシリーズで実施する。

本事業については、関係他団体との共催も積極的に進めるとともに、各地で同様の研修機会を持つことができるよう努める。

第1回 日程:2014年6月頃 テーマ:発達障害

第2回 日程:2015年2月頃 テーマ:グリーフサポート

- ※ 別途、雪のため順延となった 2013 年度事業の「キャンプ指導者のためのリベラルアーツ 2013 第 2 回 ジェンダーと子どものこころ」(2014 年 2 月 15 日実施予定)を 4 月 12 日に実施。
- ※ 他団体との共催で行う事業については、日程やテーマ等について協議の上で確定するため、大幅な変更の 可能性あり
- ※ 開催地域の拡大を含め事業追加の可能性あり

2. キャンプアカデミー (講演会タイプ)

キャンプ指導者のみならず、広く一般に対してキャンプに対する理解を深めていただくことを 目的に、研修を実施する。

日 程:2014年秋頃

テーマ: 「コミュニケーション」 「食といのち」などから選定

(2) 地域事業支援プログラム

社会的課題に応えるキャンプが広く行われるためには、全国レベルでの啓発活動が行われるとともに、地域に密着した活動が各地で行われ、広くキャンプに対する認知を高めることが重要である。そこで、都道府県キャンプ協会が中心になって行う広域的もしくは公益性の高い事業に対して、資金的及び人的なサポートを行う。

対象: 都道府県キャンプ協会及び地域ブロックが実施する広域的もしくは公益性の高い キャンプに関連する事業。

2014年度支援予定団体・事業

No.	事業主催団体名	事業概要
1	北海道・東北ブロック	スキルアップセミナー II 指導者としてより深く知っておきたいテーマを取り上 げ、研修事業を実施する。研修を通じて会員が実際の 活動に取り組むきっかけとなるような働きかけを行 う。
2	香川県キャンプ協会	キャンプセミナー in かがわ 会員および県内外の諸団体に呼びかけて、キャンプ指 導に関する講習会とワークショップを実施する。キャ ンプの普及につながる指導力の向上を目指す。
3	九州 キャンプミーティング 2015 実行委員会 ※ 九州・沖縄ブロック各県協会等 によって構成	九州キャンプミーティング 2015 指導者同士の自己研鑽と交流の場としての事業を行 う。従来から実施している実践・研究発表、基調講演、 シンポジウムに加え、この回は一般市民に向けたアク ティビティを提供することで、キャンプ協会の周知を 図る。
4	九州・沖縄ブロック	第3回九州キャンプ大会 in 沖縄 九州地区の会員を中心に全国の会員が集い、学び合う 大会を実施する。大会の一部で一般市民に向けたアク ティビティを提供することで、キャンプ協会の周知を 図る。

(3) グリーフキャンプ(悲嘆状態にある子どもを対象としたキャンプ)

2011年3月11日の東日本大震災直後から、日本YMCA 同盟、朝日新聞厚生文化事業団との共同事業として、国内外のキャンプ関係者や団体による支援と協力を得て進めてきたグリーフキャンプを継続して実施する。キャンプの安心安全な環境は、子どもたちが日常生活を離れ、自分の置かれた状況について思索を巡らせるのにふさわしい場所である。また、同じような経験をした人と楽しい時間を過ごすことで、ピアカウンセリング(当事者同士による相互支援)の効果も期待できる。

(公益財団法人日本 YMCA 同盟・社会福祉法人朝日新聞厚生文化事業団との共同事業として実施)

1. グリーフキャンプ

東日本大震災などで大切な人をなくした子どもを対象にキャンプを実施する。

第1回 日程:2014年8月頃(3泊4日) 会場:未定(東北エリア)

第2回 日程:2015年3月頃(3泊4日) 会場:静岡県立朝霧野外活動センター

参加者:東日本大震災などで大切な人をなくした子ども各回25人

※朝日新聞厚生文化事業団に寄せられた寄付金を利用して実施

2. グリーフキャンプ研修(スタッフ研修)

継続してグリーフキャンプに携わるスタッフに対して、複数の研修機会を提供する。対象となるスタッフは地域をまたがって存在するため、グループウェア(インターネット上の情報共有の仕組み)なども活用して、参加できない場合のフォローも十分に行う。

第1回 日程:2014年8月頃 第2回 日程:2014年11月頃 第3回 日程:2015年2月頃

※ グリーフキャンプに関連する調査研究やその理解を広めるための事業は、「キャンプの質の向上 につながる研修及び調査研究の事業」に位置づけて別途実施

(4) 出会いと体験の森へ(他団体と共同で行う事業)

日本キャンプ協会、日本 YMCA 同盟、東京 YWCA、ボーイスカウト日本連盟、ガールスカウト日本連盟という「人を育てるキャンプ」に携わる団体が協力して、キャンプのよさを広く伝えたり、指導者の養成につながる事業を行う。

第4期となるこの年度は、ガールスカウト日本連盟が主管団体となり、指導者養成の内容を含むキャンプを実施する。

主催:出会いと体験の森へ実行委員会

主管:公益社団法人ガールスカウト日本連盟

日程:2014年9月13日~15日

会場:戸隠ガールスカウトセンター(長野県長野市)

(5) 創立50周年となる2016年度に行う事業に向けた取り組み

創立 50 周年となる 2016 年度には、第 6 回アジア・オセアニア・キャンプ会議や第 21 回全国キャンプ大会などの要素を含む大規模なイベントを中心に、複数の特別事業を行うことを予定している。そこで、この年度には組織委員会を設け、事業の概略を決めるとともに、各事業の作業部会の組織化を進める。

1. 50 周年事業組織委員会

2. 各事業作業部会

※事業準備期間の長短に応じて順次開始

(6) キャンプに関連する情報の発信及び相談業務

会報誌「CAMPING」を発行するほか、WEBやメールなどを活用してキャンプに関連する情報の発信に努める。また、キャンプインフォメーションセンターを運営し、一般のキャンプ愛好者等の相談に対応するとともに、キャンプ実施などに対する支援を行う。

1. 会報誌「CAMPING」の発行

キャンプの教育的、社会的意義や安全にキャンプを行うための情報など、さまざまなことがらを会員を中心に広く伝えるために、会報誌「CAMPING」を年6回発行する。

この年度はリニューアルを行い、協会の事業内容を深く知ったり、キャンプアカデミーなどとして実施した研修事業の内容についても学ぶことができたりするような紙面づくりを進める。

2. WEB サイトの運用

幅広い情報のやりとりが可能なインターネットを活用し、多様かつ即時性の高い情報発信を行う。WEBサイト(www.camping.or.jp)では日本キャンプ協会の基本情報や新着情報を提供するほか、イベントカレンダーで都道府県キャンプ協会等が実施する事業の紹介も行う。

3. メールマガジンの配信

イベント、研修会の情報や、助成金、人材募集などの情報を掲載したメールマガジン「CAMPING News」を発行する。

発行回数:年間17回程度(3週間毎)

送信件数:約2,000件

4. キャンプインフォメーションセンター

広く一般に向けた情報提供を行う目的で、キャンプインフォメーションセンターを運営する。キャンプに関する相談に応じるほか、キャンプの企画・運営受託や各種関連事業に対する講師派遣、運営支援等を行う。これにより、キャンプの普及を図るとともに、キャンプ指導者の活躍の場が広がることも期待される。

(7) 都道府県キャンプ協会の広報活動の支援

会員が身近な地域の情報を得ることができるよう、都道府県キャンプ協会の広報活動の支援を 行う。

- ・ 会報同封サービス(会報誌等を CAMPING に同封して会員に安価に送付するサービス)の提供
- ・ WEB サイト用サーバー及び専用メールアドレスの提供
- 各種情報の提供

(8) 国外の情報の収集と提供

国際キャンプ連盟やアジア・オセアニア・キャンプ連盟等の国際ネットワークを活用して情報の収集を行い、会員等に提供する。10月にトルコで行われる第9回国際キャンプ会議については、参加申し込みの代行及び現地でのサポートを行い、国内外のキャンプ関係者の交流機会とする。また、国外から得られた情報のうち会員等にとって有用と思われるものについては、抄訳を作成し、積極的に共有を図る。

1. 第9回国際キャンプ会議 (International Camping Congress 2014 Turkey)

会議日程: 2014年10月23日~27日

会場:マリティム・パインビーチ・リゾート(トルコ・アンタルヤ)

2. アメリカキャンプ協会年次大会 (2015 ACA National Conference)

会議日程:2015年2月3日~6日

会場:ヒルトン・ニューオリンズ・リバーサイド(アメリカ・ルイジアナ州)

3. 国外情報の日本語による提供

国外の有用な情報の抄訳を作成し、WEB サイトや CAMPING 誌面などを通じて紹介する。

(9) 安全啓発キャンペーン

キャンプを楽しく有意義な活動とするためには、一人ひとりが安全意識を高めることが求められる。そこで、7月第3日曜日の「キャンプ安全の日」を中心とする7月・8月に安全啓発キャンペーンを実施する。

また、それに先だって安全標語(安全いろはかるた)の募集を行い、野外における安全について、多くの人に意識していただける機会を設ける。

安全標語募集期間:2014年4月1日~6月20日 キャンペーン期間:2014年7月1日~8月31日

キャンプ安全の日:2014年7月20日 ※7月第3日曜日

(10) 静岡県立朝霧野外活動センターの運営

静岡県立朝霧野外活動センターの管理運営に参画して8年目を迎えるこの年度は、第2期指 定管理期間の最終年度となる。

朝霧野外活動センターは、静岡県教育委員会社会教育課の所管施設としてその機能を十分に果たしつつ、一方では日本キャンプ協会にとってのキャンプ・野外活動の実践の場として多くの事業を実施し、新しい野外活動の在り方やその具体的展開方法の開発に努めてきた。この年度も、主催事業、受け入れ事業を通して多くの人々の自然体験活動を支援するとともに、新規プログラムの開発や定着に力を注ぐ。また、周辺地域の人々や施設との協力関係を更に進めながら、地域に根差した野外活動センターとしての営みを継続する。

この年度の半ばには、第3期の指定管理者選定の公募が出される運びとなるが、引き続き朝 霧野外活動センターの管理・運営の責任を担うべく、静岡県教育委員会に対して指定管理者と しての出願を行う。

1. 自主事業の実施

青少年自然体験事業

事業名	日程	対象	備考
朝霧高原サマーキャンプ	7月6日	小学校 5~6 年生	事前研修
~つながろう 富士山~	8月6日~14日	中学校 1~3 年生	本研修

野外教育指導者養成事業

事業名	日程	対象	備考
野外活動プログラム実習	4月11日~12日 10月31日~11月1日	利用団体の担当者 および指導者	
	6月14日~15日	専門学校生 短大生 大学生	全4回参加が必要
長期キャンプ	7月12日~13日		8月6日~14日は
指導者養成講習会	8月6日~14日		朝霧高原サマーキ
	10月18日~19日		ャンプと並行開催

事業名	日程	対象	備考
野外活動指導者養成講習会	2015年2月6日~8日	野外教育に興味のある人 青少年団体の指導者 教育関係者	

県民自然体験事業

事業名	日程	対象	備考
ちょっといい春 感じませんか	4月19日~20日	家族・小グループ	
朝霧高原 トレイルランニングレース	9月6日~7日	家族・小グループ	
すてきな秋をあなたに	10月4日~5日	家族・小グループ	
オリエンテーリング in 朝霧	11月8日~9日	家族・小グループ	
	12月12日~13日		
76. 1411.00	2015年1月16日~17日	字状	
スケートキャンプ	2015年2月20日~21日	家族・小グループ	
	2015年3月6日~7日		
223(ふじさん) ウォーキング	2015年2月22日	家族・小グループ	静岡県富士山の日
スケートフェスティバル in あさぎり	11月2日 2015年3月31日	家族・小グループ	

施設開放事業

事業名	日程	対象	備考
プラネタリウム一般開放	原則海月第3日曜日 春休み・冬休み期間	家族・小グループ	13:15~14:45 15:00~16:30
スケート一般開放	11月~3月の原川曜日春休み・冬休み期間	家族・小グループ	13:00~15:30 15:30~18:00
朝霧カーニバル	11月2日	どなたでも	

社会問題に対応した事業

事業名	日程	対象	備考
ホッとキャンプ	2015年3月3日~6日	不登校児童・生徒 引きこもりがちな青年	

2. 受け入れ事業の支援

学校や地域の諸団体の利用について、利用目的に合った適切なサポートを行う。

3. 新規プログラムの開発

野外活動における安全マニュアルを遵守しつつ、朝霧地域の立地を生かした新しいアウティングプログラムの開発(ハイキングコースやコース図の新規作成等)に努める。また、利用者が目的に沿った形で気軽に行うことのできるプログラムを多様に準備することで、リピーターにとっても年間を通じて奥深い魅力の感じられる施設づくりを目指す。

4. 地域との協働

隣接する富士丘地区をはじめ近隣地域との協力関係をさらに深め、朝霧野外活動センターが実施する各種事業への協力を仰ぐとともに、積極的に地域の行事へ参加をすることによって相互理解を図り、地域の活性化に寄与する。

(11) 都道府県キャンプ協会に対するキャンプ用品・用具の配備

都道府県キャンプ協会がより多くの人を対象としてキャンプの普及につながる事業を行えるよう、助成金を受けて、キャンプや講習会等で活用できるテント等のキャンプ用品、用具を配備する。 ※財団法人日本宝くじ協会に助成金を申請(10月に申請済み)

よりよいキャンプを実現する指導者養成の事業

キャンプの有用性・有効性を最大限に発揮させ、人々の心身の発達に寄与することのできるキャンプ 指導者の養成は、本協会発足以来の大切な事業である。課程認定団体とともに指導者養成を着実に進め る。

この年度は、公認指導者資格をキャンプディレクター1級、キャンプディレクター2級、キャンプインストラクターの3段階に変更するのに合わせて、キャンプディレクター2級プログラムディレクター及びマネジメントディレクターのキャンプディレクター2級への移行措置を開始する。

また、この変更に合わせて日本キャンプ協会認定キャンプ指導者資格に対する理解を深めるための取り組みを進め、既存指導者会員の上級資格へのステップアップおよび新規指導者の獲得を図る。

(1) 公認指導者養成

- 1. キャンプインストラクター養成
 - ※ 課程認定団体(全174団体)主催で実施
- 2. キャンプディレクター2級養成講習会
 - ※ 課程認定団体(A団体及び事前に実施承認を得たB団体)、日本キャンプ協会主催で実施
- 3. キャンプディレクター1級養成講習会

日程:2014年11月14日~16日

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

4. キャンプディレクター1級検定会

日程:2015年1月25日~26日

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

- 5. キャンプディレクター2級移行措置
 - 2級プログラムディレクター(PD)
 - ・ レポート課題による移行
 - 2級マネジメントディレクター(MD)
 - ・ 移行講習にあたる研修事業を 3 か所程度で実施 ※ディレクターゼミナール (P13) に移行に関する説明会を組み合わせる形で実施

(2) キャンプ指導者の審査・認定

1. キャンプインストラクター新規資格申請者の審査・認定 目標 3,000 人

2. キャンプディレクター2級申請者の審査・認定 目標 90人

3. キャンプディレクター1 級申請者の審査・認定 目標 15 人

4. 指導者資格 (インストラクター・ディレクター) の更新 目標 8,000 人

5. 課程認定団体の審査・認定 新規課程認定団体 目標 10 団体

(3) ディレクターゼミナール

キャンプディレクター有資格者を主たる対象とする、グループワークや討論を交えた小規模 勉強会を実施する。実際にキャンプを企画する際に重要となるトピックに絞って、深く学ぶ機 会とする。

日程:2014年10月頃

会場:北海道、大阪、福岡の3会場を予定

(4) 課程認定団体向け研修会

課程認定団体の指導者養成担当者を対象に、カリキュラムに則った指導者養成が行えるよう研修を行う。この年は、特にキャンプディレクター2級養成に重点を置く。

日程: 第1回 2014年5月24日 第2回 2015年3月15日

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

(5) 指導者養成のためのテキスト発行

キャンプインストラクター養成用として「キャンプ指導者入門」、キャンプディレクター養成 用として「キャンプディレクター必携」の2種類のテキストを発行する。

(6) 都道府県キャンプ協会指導者研修会

全国の都道府県キャンプ協会の会務を担当する指導者が集まり、それぞれの協会の状況等を 共有し、継続的な指導者養成、協会運営を可能にするための研修を行う。

日程:第1回 2014年5月25日 第2回 2015年3月15日

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

(7) 都道府県キャンプ協会の実施する BUC 事業等の承認及び支援

キャンプ指導者が新しい知識や技能を身につけたり、指導者同士が顔の見える関係をつくったりすることを目的に実施するBUC(Brush Up & communication)事業を承認し、支援する。

※ 所定の期間に BUC 事業に参加し、手続きを完了した会員に対しては、次年度の資格更新料を免除する。

(8) 公認資格取得機会拡大につながる取り組み

日本キャンプ協会公認指導者資格の取得機会を拡大するため、課程認定団体数の増加に向けた取り組みを進める。

キャンプの質の向上につながる研修及び調査研究の事業

キャンプの質を高め、普及を進めるためには、新たな実践について知ったり、専門的な研究結果に学

んだりすることもまた重要である。国内外のキャンプに関連する実践、新たな知見を蓄積、整理すると

ともに、わかりやすく社会に提供する。また、会員同士が情報を持ち寄って学びあったり、各自が提案

しながら新しい学びの機会を創造することのできる場を提供する。

(1) Camp Meeting in Japan 2014 ~第 18 回日本キャンプ会議~

さまざまな地域、分野、立場で活躍しているキャンプ関係者が、日頃の実践の成果を口頭発 表、ポスター発表、ワークショップのいずれかの形式で発表し、参加者間の情報交換や情報共

有ができる機会を提供する。

この年度は関係他団体との連携も進め、2016年度の創立50周年事業につながるよう、交流の

拡大を図る。

日程:2014年5月24日

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

(2) 定期刊行物「キャンプ研究」発行

会員の研修機会のひとつとして、また、キャンプ関係者への情報提供を目的として、キャン

プに関する論文、実践報告等を掲載した「キャンプ研究」を発行する。

キャンプ研究第18号

発 行 日:2015年2月1日

発行部数:3,500部

(3) Café de CAMP (カフェ・ド・キャンプ)

キャンプに興味を持っている、これからキャンプに携わりたいという人を中心に集まり、講

師を囲んで意見交換をしたり、相互に事例発表を行ったりする、つながり、学びあう場を設け

る。

日程:年間8回程度

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)ほか

15

(4) グリーフキャンプに関する調査研究とその周知に関する事業

大切な人をなくした人を対象とし、グリーフワークの要素を取り入れたグリーフキャンプは、大きな喪失体験と折り合いをつけていく術を身につける場として大変有効であるが、日本においては「グリーフ(悲嘆)」自体が比較的新しい概念であり、グリーフキャンプについても認知が十分に広がっているとは言えない状況がある。

先行事例に学んだり、グリーフサポートに取り組む専門家等から情報を得て研究を進め、その成果をわかりやすい形で提示することで、グリーフキャンプに対する認知が高まるよう努める。

1. グリーフキャンプ・フォーラム

キャンプ関係者のみならず、一般にもグリーフサポート及びグリーフサポートにおいてキャンプの担いうる役割についての理解を深めていただくためのフォーラムを実施する。

第1回 2014年11月頃 会場:未定

第2回 2014年12月頃 会場:未定

※子どもゆめ基金を申請中

2. El Tesoro de la Vidaにおける研修

グリーフキャンプ普及のためには、専門家との連携やボランティアの確保、ファンドレイジングなど多くの課題がある。先行事例である Camp Fire USA First Texas Council 主催のグリーフキャンプ「El Tesoro de la Vida」への参加を通じて、それらの事柄について学ぶ機会とする。

日程:2014年7月26日~8月2日

会場: Camp El Tesoro (アメリカ・テキサス州)

※3~4名程度(参加にかかる交通費等は各自が負担)を職員1名が引率

3. グリーフサポートおよびグリーフキャンプに関する調査研究

海外の文献の翻訳を行ったり、日本におけるグリーフサポートの取り組みの事例を学ぶことを通じて、グリーフキャンプ普及の可能性、社会的課題に対応するキャンプのあり方を模索する。

(5) 安全啓発に関する事業

安全なキャンプを行うために必要な野外の安全に関する情報を提供し、指導者の安全意識の 向上を図る。

この年度は、効果的なリスクマネジメントの基礎となる「リスク認知」に焦点を当て、具体的なトレーニング方法を検討し、その内容に基づいてワークショップを実施する。また、情報ツールとして主流となったインターネットに関するリスクマネジメント及び有効活用について

も、情報提供を行う。

1. ワークショップ「リスク認知(仮)」

野外におけるリスク認知のポイントとトレーニング方法について検討を行い、その内容に 基づいてワークショップを実施する。

日程:2015年1月頃

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

2. 研修会「インターネットの活用とリスクマネジメント (仮)」

情報ツールとして重要な位置を占めるインターネットについて、活用する上で注意すべき 点などを学ぶ研修会を実施する。

日程:2014年11月頃

会場:国立オリンピック記念青少年総合センター(東京都渋谷区)

法人事務

日本キャンプ協会の適正規模を模索するとともに、運営の効率化を図り、健全な財務管理に努める。 また、新たな支援者層の獲得を目指して、その方策を検討するとともに、キャンプの最前線である都道 府県キャンプ協会が円滑に事業を行えるよう効果的な支援を進める。

(1) 諸会議の開催

1. 総会 第1回 2014年5月24日 第2回 2015年3月14日

2. 理事会 第1回 2014年5月24日 第2回 2015年3月14日

3. 執行理事会 随時

4. 都道府県キャンプ協会指導者研修会

第1回 2014年5月25日 第2回 2015年3月15日

5. ブロック会議 都道府県キャンプ協会指導者研修会内及び各ブロックによる実施

6. 運営委員会/タスクチーム・ミーティング等

名称	概要
研修事業委員会	各種研修事業の年間プランの検討と検証
CAMPING 編集タスクチーム	CAMPING の企画編集
朝霧提案書策定タスクチーム	静岡県立朝霧野外活動センターの次期指定管理選 定に向けた提案書の作成
指導者養成委員会	指導者養成制度の検討および養成講習会等の企画 運営
調査研究委員会	グリーフキャンプ等の社会貢献につながるキャン プの研究とその認知向上につながる事業の企画運 営
Camp Meeting タスクチーム	Camp Meeting in Japan の企画運営
キャンプ研究編集タスクチーム	キャンプ研究の企画編集
安全啓発タスクチーム	安全に関する調査研究および啓発事業の企画運営
地域連携委員会	都道府県キャンプ協会へのサポート、ブロックで の取り組み等を検討

創立50周年特別事業に関するもの

名称	概要
50 周年事業組織委員会	2016 年に実施する協会設立 50 周年特別事業の構成・運営体制の検討
50 周年事業作業部会	2016 年に実施する協会設立 50 周年特別事業の個 別事業の企画運営(年度後半以降に順次設定)

他団体と共同で行う事業に関するもの

名称	概要
出会いと体験の森へ実行委員会 ※事務局はガールスカウト日本連盟が担当	関連 5 団体で実施する「人を育てるキャンプ」に 関連する事業の企画運営
グリーフキャンプ組織委員会	共同事業として実施するグリーフキャンプの計画 および報告の承認・全体計画の検討
グリーフキャンプ実行委員会	共同事業として実施するグリーフキャンプの企画 運営

(2) ファンドレイジングの取り組み

キャンプを通じた社会貢献を考えた場合、必ずしも受益者負担が成り立つとは考えられない。 そこで、日本キャンプ協会が社会貢献につながるキャンプの取り組みを一層進めるためには、 常に協会を支え続けている会員の存在に加え、新しい支援者層の獲得が不可欠である。

この年度は、他団体の事例を参考としながら、支援者の獲得とファンドレイジングのための 取り組みを着実に進める。

(3) 都道府県キャンプ協会の活動に対する支援

都道府県キャンプ協会は、日本キャンプ協会と密接な協力関係にある、キャンプ普及・振興の中心的存在である。有用な情報の提供や広報活動のサポートなどを通じて、その活動を支援する。

- 1. 都道府県キャンプ協会指導者研修会の開催(5月・3月)
- 2. 都道府県キャンプ協会の行う諸事業の支援

(4) 日常法人事務

- 1. 会員情報管理
- 2. 会費等徴収
- 3. 事業方針・計画・予算の管理
- 4. 日常経理業務

- 5. 事業運営管理
- 6. 助成金事務
- 7. 人事管理・職員の研修
- 8. 渉外事務
- 9. 庶務

Gift for the Next 100 Years

公益社団法人日本キャンプ協会 www.camping.or.jp